

境港港湾計画 —改訂—

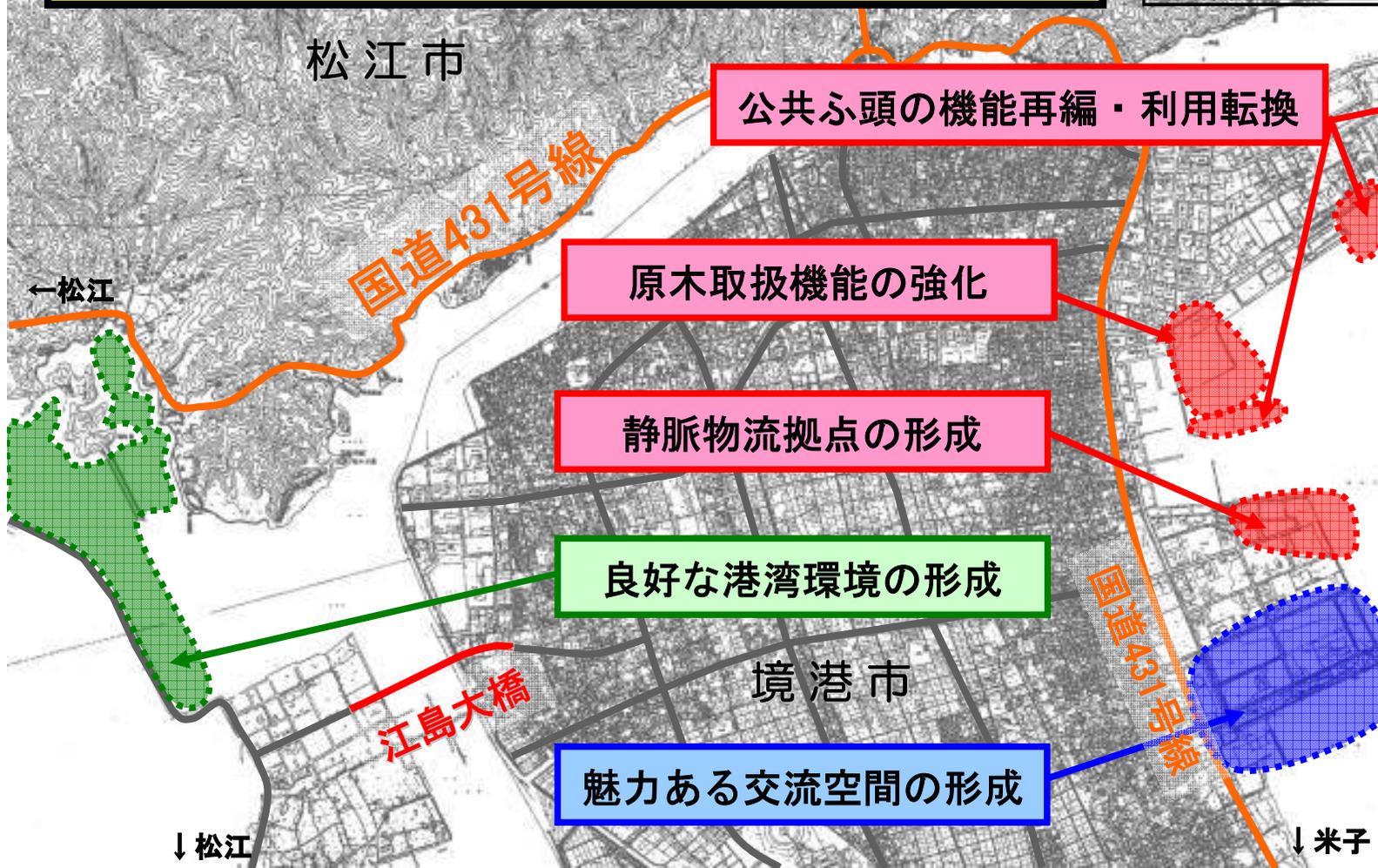
境港の役割・港湾計画改訂の方針

【境港の役割】

- ①山陰地域における国際物流拠点
 - ・山陰地域の海上物流の中核を担う国際物流拠点
 - ・製紙、製材業を中心とした地域産業を支える港湾
- ②本州と隠岐とを結ぶ物流・人流拠点
 - ・境港と隠岐を結ぶフェリー、高速船の発着基地
- ③地域の観光交流拠点・市民の憩いの場
 - ・周辺の観光資源と連携した交流拠点
 - ・海と親しむ潤いのある空間

【計画改訂の方針】

- ①物流機能の再編強化
 - (1) 原木取扱機能の強化
 - (2) 静脈物流拠点の形成
 - (3) 公共ふ頭の機能再編・利用転換
- ②魅力ある交流空間の形成
- ③良好な港湾環境の形成



①物流機能の再編強化 ～(2) 静脈物流拠点の形成～

◆課題・背景

- ・自動車リサイクルの進展を背景とした企業の進出・利用意向
- ・背後企業のRPF発電燃料の取扱い

◇対応

他貨物との分離が必要な金属くずや廃タイヤ等の取扱いに対応した公共ふ頭の整備

位置図



外港竹内地区

【今回計画】

岸壁(-9) 1B 160m

取扱貨物

- ・金属くず
- ・中古自動車
- ・廃タイヤ
- ・廃プラスチック
- ・古紙

【既設】

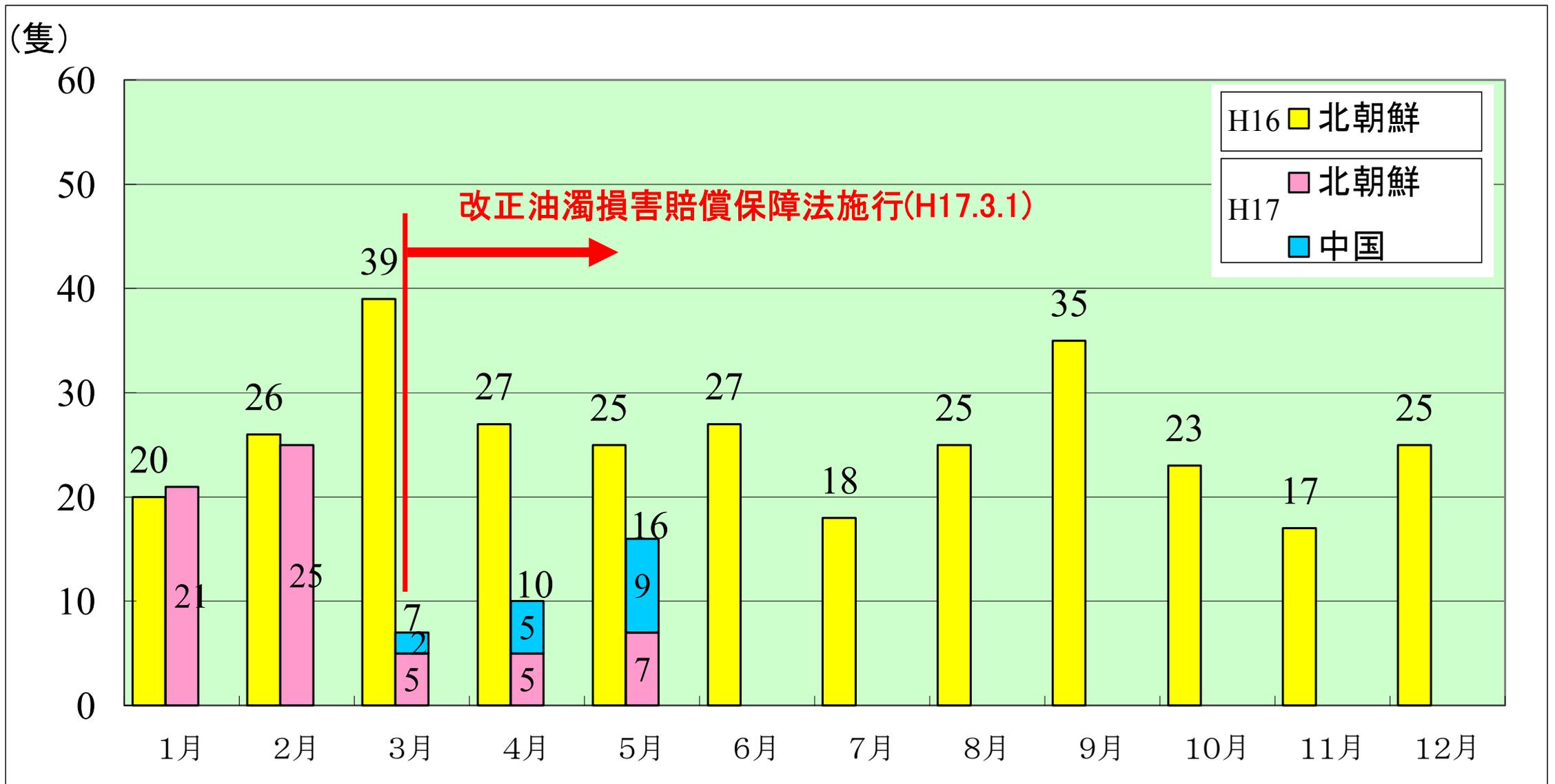
竹内4号岸壁(-7.5) 1B 130m



泊地(-)

改正油濁損害賠償保障法施行による北朝鮮船の入港動向(境港)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H16	北朝鮮	20	26	39	27	25	27	18	25	35	23	17	25
	中国												
H17	北朝鮮	21	25	5	5	7							
	中国			2	5	9							
	合計	21	25	7	10	16							



①物流機能の再編強化

～(3)公共ふ頭の機能再編・利用転換～

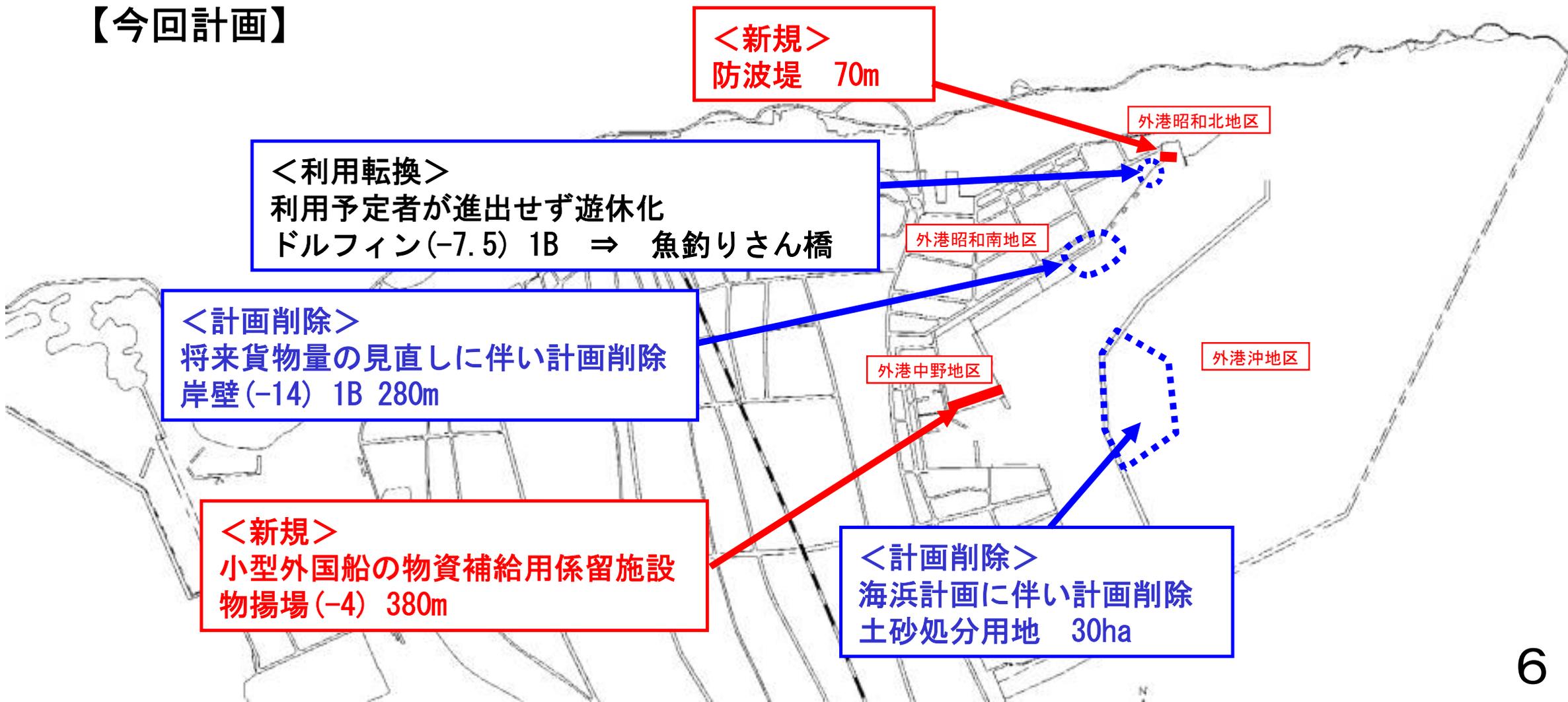
◆課題・背景

- ・一部既存施設が低利用・遊休化
- ・将来貨物量の見直し
- ・小型外国船等の休憩による貨物船の荷役障害
- ・航走波や港内発生波に対する静穏度確保

◇対応

- ・低利用施設の廃止・利用転換
- ・既定計画の削除
- ・小型外国船の物資補給用係留施設の整備
- ・航走波・港内発生波に対応した防波堤の整備

【今回計画】



②魅力ある交流空間の形成

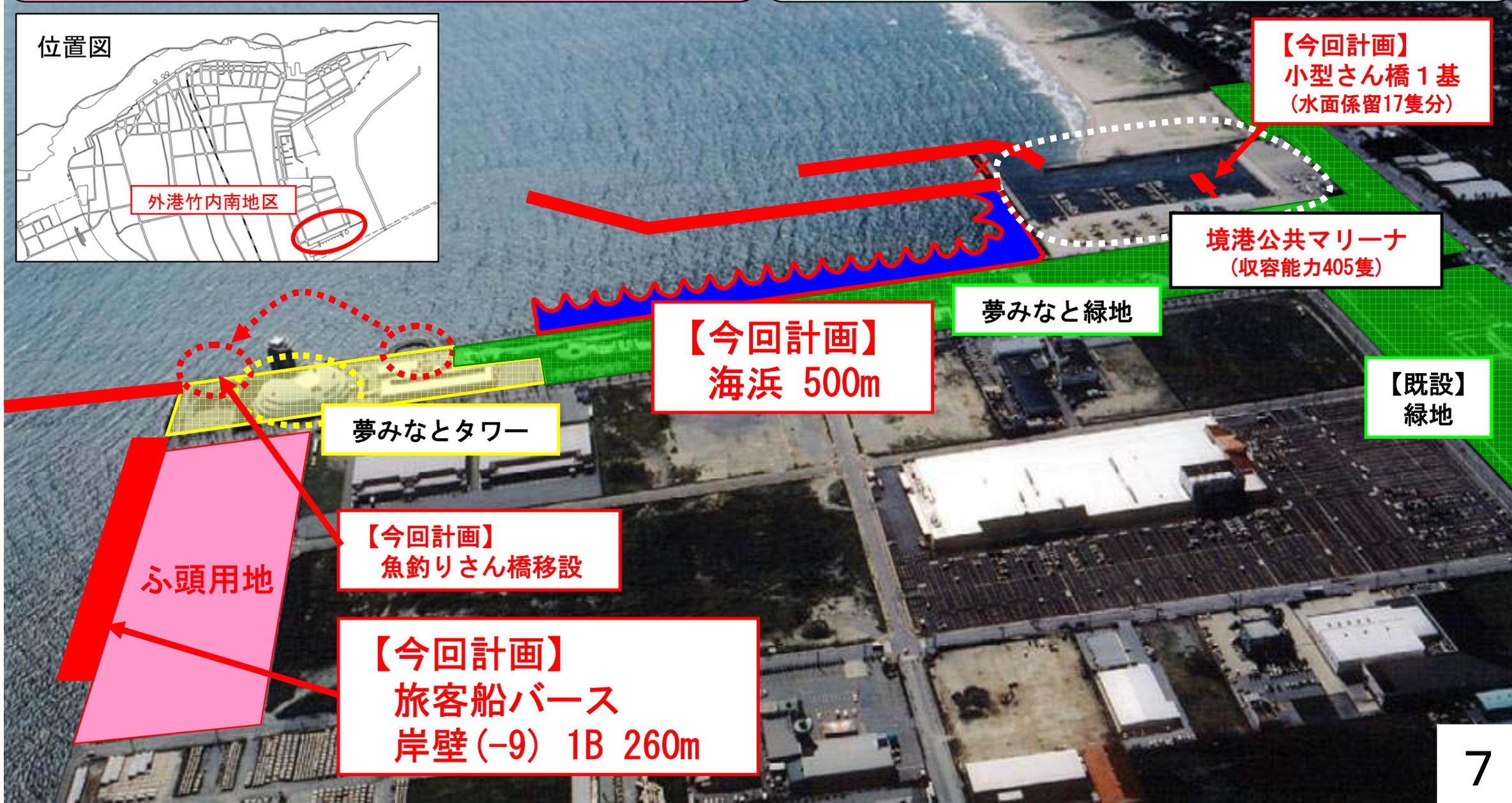
◆課題・背景

- ・環日本海地域を中心としたクルーズ需要増大
- ・人々が気軽に親しめる親水空間形成の要請
- ・浚渫土砂の受入への対応
- ・マリーナ利用需要の低迷

◇対応

- ・交流拠点機能強化とクルーズ需要に対応した旅客船ふ頭の整備
- ・浚渫土砂等を活用した人工海浜の整備
- ・マリーナ拡張計画の縮小

位置図



③ 良好な港湾環境の形成

◆ 課題・背景

- ・ 中海周辺における生態系保護の社会的要請
- ⇒ ガンカモ類国内最大級の渡来地
- ⇒ 絶滅を危惧されている鳥類が多数渡来。
- ⇒ 一部港湾区域が国指定鳥獣保護区特別保護地区指定

◇ 対応

- ・ 自然的環境を保全する区域を設定し良好な港湾環境を保全し、生態系との共生に配慮した港湾利用を図る。



中海には、約200種以上の鳥類が生息

- ・ 国内最大級のガンカモ類の渡来地
- ・ コハクチョウの日本の集団渡来地の南限